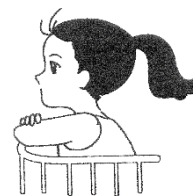


登校拒否・不登校問題

第23回全国のつどいin大阪 実行委員会ニュース NO.2



ホームページ版

第23回全国のつどい実行委員会事務局発行 2018. 3. 17

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 403 号

大阪教育文化センター気付、tel.090-2064-4622 携帯 fax.06-6768-2527

大事なことを、確かめ合って。



第23回全国のつどい第2回実行委員会

暦の上では春となって3日目、埼玉、東京、滋賀、京都、奈良、和歌山、兵庫、岡山、大阪から51人のご参加を得て第2回実行委員会が開かれました。

前回に引き続き、熱のこもった自己紹介に時間を割き、その後の議題では、つどいの全体像を話し合いました。特に記念講演の件について、お互いに大事にしたいことは何かを心のうちを出し合い確かめ合う時間になりました。

実行委員長あいさつ（福田敦志さん）



第2回実行委員会にお集まりのみなさん、お疲れ様でございます。

本日、業務のため、実行委員会に参加することができません。みなさんと同じ時間と場所を共有しながら考え合うことができないのが残念です。

沖縄本島で行っていた調査旅行の帰路の機内でこれを書いています。

この調査は貧困や虐待、あるいは障害等々の影響を受けて学校に行くことや馴染むことが難しかったり、自分の存在価値を自分でおとしめずにはいられなかったり、物理的に自分を傷つけてしまったりするような子どもたちに対して、学校や児童福祉の関係者だけではなく、医療や矯正教育（少年院や鑑別所でのお仕事です）の関係者たちが協働して支えたり、その子たちが少しでも生きることに前向きになることができるよう、周囲の環境を変えていこうとしていたりする取り組みへの参与観察やインタビューを行うものでした。

調査に赴いた小学校は、校庭のフェンス1枚を隔てた向こう側が米軍基地であるような場所で、かのオスプレイも発着するような、危険と隣り合わせの学校でした。元気な子ど

もたちが勢い余って蹴っ飛ばしたボールがフェンスを越えてしまったらどうするのだろうと心配をせずにはいられないほどに、米軍がすぐそこにある学校です。

その学校では、貴重なお話を伺ったり、子どもたちの活動を実際に見たりすることができましたが、一つのエピソードをここで紹介いたします。

今年度で開催された運動会に向かう取り組みのなかで、身体に重度の麻痺があり、車椅子を利用している5年生の子どもが「全員リレーで『走る』(=実際には『車椅子で走る』)距離が自分だけ短くなるのは嫌だ」と訴えました。言うまでもなく、そこには「自分もみんなと対等な存在として生きていきたい」という願いがあると考えられるのですが、みなさんがこの子どもの同級生であったとしたら、その願いにどのように応答しようとなさるでしょうか？

1年生のときから学校生活を共にしてきた子どもたちは、その願いに応えるべく一所懸命に当該の子どもと共に知恵を絞り、「実験」をくり返し、一つの結論にたどり着きました。その結論とは、「その子と同じ順番で走る子どもは、バトンをもらったときに縄跳びで50回その場で跳んでから走り始める」というものでした。

本番は抜きつ抜かれつの、全員リレーの醍醐味を十二分に味わうことができるものになったそうですが、それを目の当たりにした先生方は、「ハンデとは弱い立場の者に『与えてあげる』ものではなく、周りの者が『負う』ものであり、それこそが実質的な平等を現実のものとするのできる道なのではないか」と気づいたのでそうです。

子どもたちが創りだしたこの経験は、わたしたちに対してもまた、深く考えることを呼びかけるちからをもっているとわたしは考えます。

ひるがえって、わたしたちはこの夏に向けて議論を重ねるなかで、どのような経験を創りだすことができるのでしょうか。

か細く、傷つきやすいかもしれないけれど大切な、それぞれに固有な経験という糸をよりあわせ、太いながらもしなやかな糸をみなさんと紡ぎだすことができたらすてきだと思います。そのためにも、今日もしっかりと互いに語り合っただけならと思います。その内容をまたの機会にお聞かせいただけることを楽しみにしております。

会場についての報告



1 全体会・分科会会場について

昨今のホテル事情により、適切な会場がなく、今回は一つのホテルで全日程をこなすことができません。会場は「エルおおさか」を主に使用しますが、1日目は最寄駅が同じ「ドーンセンター」で一部の分科会等を行います。2日目はすべてエルおおさかで行います。

2 大交流会（夕食交流会）は、天満橋の、中国料理の「錦城閣」を予約しました。

3 宿泊は、天満橋近隣のホテルを数か所予約しています。

4 各種交流会（大交流会後の自主交流会）については、今後検討していきます。

5 一部分科会等の会場移動については、今後検討していきます。

第2回実行委員会で話し合ったこと

1、文化行事について、事務局から提案があり承認されました

事務局からは下記のように、プロの演奏家によるオカリナ演奏の提案がありました。

「つどいの初めに、悩んでいる親たちが文化行事で心を落ち着かせ、ホッとする時間をつくりたい。そして、講演や分科会につながる流れが作れたらと思います」と提案。奏者は小林理子さん。ソロやコンサートの活動、オカリナ教室を手がけておられます。オカリナのをご自身のCDで、「心が向いたときにポケットから出して吹くような、疲れた心が洗われるような、素朴であたたかい楽器」と紹介しておられます。

2、予算案について、事務局から提案があり承認されました

参加費はこれまでと同じ金額（大人2日間4000円等）で、予算が立てられています。

3、後援、協賛について報告がありました

つどいを知っていただくことも含めて、府下の市町村や教育委員会を回り、新聞社やテレビ局にも取材と記事をお願いしていく予定です。

4、タイムテーブル（細かい日程は今後検討します）

(第一日目)	全体会（はじめのつどい） 〔文化行事 あいさつ 記念講演〕	休憩	特別講座	大交流会	(各種 交流会)
			分科会		

(第二日目)	基礎講座	休憩	分科会	全体会（おわりのつどい）
	分科会			



5、基礎講座について（事務局提案）

内容は学習、Q&A と交流。基本的には「家庭で」「学校で」で取り組みたい。会場の都合で2日目の午前中に開催したい。

6、特別講座について（事務局提案）

1日目に、NPO 教育相談おおさかのパンフレット「登校拒否を克服する道すじ」による、登校拒否の基本を学ぶことができる、初めて参加される親も安心できる講座をしたい。

※5、6の基礎講座・特別講座について出た意見

*特別講座と基礎講座の違いがわかりにくい。2日目の基礎講座とどう違うのか。

*どこの会でも発達障害などで悩む親は多いと思う。そういう部分での学ぶ場、分科会では学べない基礎的な講座をしてはどうか。

*学校がどんどん管理化されて行きづらい学校になっている。学校・教育の制度がどういうふうに動かされようとしているのか、そういうことを知る講座はどうか。

いただいたご意見を事務局で検討し、次回の実行委員会で再度話し合います。

7、記念講演について

具体的なお名前を挙げて意見交換しました。



※出た意見

*大阪では学校が大変競争的になり、また非正規が増え、先生たちも悩んでいる。初めて来る人、悩んでいるお父さんお母さんがホッと安心でき、親も先生も登校拒否のことがよく分かる講演を期待したい。ハウツーではなく、根本のところを語ってほしい。

*子どもが元気になるには家庭の中の環境づくりが大切、なるべく早く学校へ戻して、社会生活の経験を積ませたいという考えの先生を推薦したい。

*自分の原点に立ち返れる。不登校の解決ってなんだろうと、つどいに参加しながら考えてきた。学校に戻すことが目標ではないのではないか。

*10年引きこもった子、高校を9年かかって出た子、わが子たちはそれをまっとうして、力を蓄えて自分の力で自分の人生を選び取って歩み出している。迷った期間は宝物。

事務局で再度検討したうえで、次回第3回実行委員会（4月1日）に再度提案し、決定したいと思っています。



8、分科会について

事務局では参加した人の思いを大切にして、交流を中心に、これまでの分科会の流れを受け継ぎ、やっていきたいと考えています。今後検討していきたい。

<事務局よりお願い>

昨年の特設分科会などについても第一回実行委員会で意見をいただいています。

つどいも22年たつて新しい世話人さんや参加者が増えています。毎回どんな内容で行われているかを知っていただくために、過去世話人などで関わってこられた方に、分科会でどうということが語られてきたか、運営でこれまで大事にしてきたことや、心掛けたり気を配ったことなどを書いてつどい事務局へお寄せいただきたいと思います。大阪近辺ではすでにお問い合わせしていますが、全国の皆さまにも呼びかけます。よろしくお願ひします。

すでにお寄せいただいたものを今後順次、ニュースなどでご紹介します。

第8分科会 居場所とは A（学齢期）

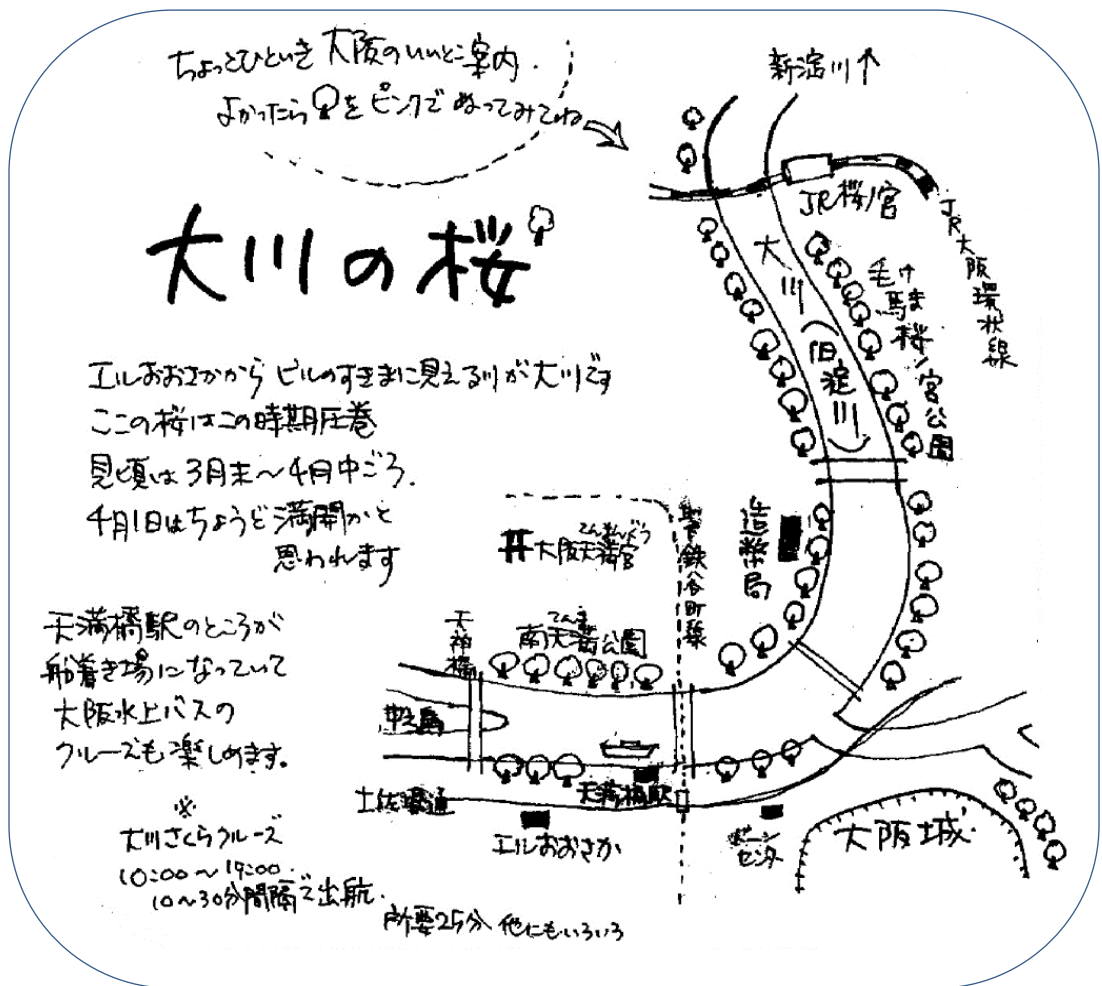
3回ほどこの分科会に世話人として参加してきました。主に1日目の司会をさせてもらっていました。司会をする上で大切にしてきたことは、参加された方々が参加して良かったと思えるような分科会にすること。それは1人1人の心の内を、安心して出せる場になることにつけるように思います。それが難しいことなのですが。

安心できる場、それは参加した方々を大切に思うこと、いろんな立場の方が来られる訳ですが、親として、支援者として、経験した者として・・・等。立場はそれぞれ違うけれど、表現方法も違うけれど、根底に流れているのは、「子どもにとって生きる力になっていく居場所とは、どういう所なのだろうかと考えたい」という思いのような気がします。

それぞれが自分に出来ることを見つめて、また明日からの活動や親としての関わりの力になってくれるような分科会であって欲しいなと思っています。(滋賀 母)

感想から

- ★具体的な検討に入ってきて、いよいよ今年度の“つどい”をこうやって皆で、大事なところを丁寧に確かめ合ながら、作りあげていくのだなあと、その作りあげる仲間の輪の中にいる嬉しさや心地よさを感じました。毎月の集まりが楽しみです。“あたたかい” “やさしい” つどいと、“つどい”に集う素敵な仲間たちとの出会いをもっと多くの方に知っていただけますように！悩んでいる人がつながれますように！（兵庫・父母）
- ★本日は初めての実行委員会への参加でした。自己紹介では、様々な方が、それぞれの思いを持ってこの会に集まってこられたことがよく伝わってきました。親の会に出会って、とても気持ちがホッとした。そしてたくさんの気付き、学び、出会いがあった。つどいを通じて今、1人で悩んでいる人にも、この場を知って欲しいですね。（・）
- ★初めて参加させていただきました。この雰囲気は何！？ 今回のみと思って来ましたが、ハマってしまいそうです。中身の濃い、心の奥底に響く会でした。（・）



つどいちゃんストラップ、ほか物品販売のお知らせ

大阪のおみやげや実用品、おやつなど、つどいの資金作りを兼ねて、事務局から販売します。ご協力よろしくお願ひします。



第23回全国のつどい in 大阪 第3回実行委員会のご案内

下記のとおり第3回実行委員会を開催します。
みなさまのご参加をお待ちしております。

記

日時 4月1日(日) 13:00～17:00
場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター)南館734号室
内容 記念講演、分科会、基礎講座などについて



天満橋駅②番出口を出て右へ

●京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅より西 300m ●京阪・地下鉄堺筋線「北浜」駅より東 500m ★車の方は、阪神高速東大阪線、法円坂出口を左折して直進、京阪東口交差点を左折して西へ信号5つ目 ★新幹線でお越しの方はその乗車券でもう一駅、JR 大阪駅下車、地下鉄谷町線東梅田駅へ移動、二駅目が「天満橋」駅になります。

今後の日程

実行委員会	日にち	時間	場所
第4回	5月6日(日)	午後1時～5時	エルおおさか 606
第5回	6月3日(日)	午後1時～5時	エルおおさか 606
第6回	7月8日(日)	午後1時～5時	エルおおさか 709

大川の桜

